

「あなたが必要」

東日本大震災の被災地に医療チームを派遣している国際医療救援団体「AMDA」(本部・岡山市)の菅波茂代表(64)が21日、一時帰還した岡山市内で活動報告。岩手県内で被災者らを現地スタッフに

AMDA代表

雇い、避難所での活動の手伝いをしてもらっていることを明らかにした。菅波代表は「『必要とされている』と想ってもらうことが被災者の心のケアになる」と話した。

現地スタッフは車両の手配や活動記録の作成などを担

被災者をスタッフに

当。21日から23人の募集を始め、うち数人がこの日から釜石市や大槌町で活動している。家を失った人には日給1万円、家がある人は5000円を支払う。

また、福島県南相馬市から岡山県に避難してきた医師の常盤聡さん(44)と妻で看護師の恵子さん(41)も同席。自宅は福島原発の屋内退避指示圏内といい、常盤さんは「もう一度戻って診療したい。(寝たきりなどで)動けない人も残っているので、福島にもっと物資を運んでほしい」と訴えた。【椋田佳代、写真も】

活動報告をする菅波代表—岡山市北区のAMDA本部で21日午後3時23分

